

令和5年7月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,298	121,600	122,100	122,152	△ 500	△ 552
2 調定水量	m ³	603,427	2,470,719	2,524,000	2,554,301	△ 53,281	△ 83,582
3 調定料金(税抜)	円	163,697,791	668,517,515	674,000,000	687,019,601	△ 5,482,485	△ 18,502,086
4 口振加入件数	件	24,924	99,892	—	100,376	—	△ 484

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,019	76,274	76,788	75,497	△ 514	777
6 調定水量	m ³	374,501	1,519,720	1,542,200	1,557,398	△ 22,480	△ 37,678
7 調定料金(税抜)	円	59,553,945	242,062,196	246,511,000	247,604,271	△ 4,448,804	△ 5,542,075

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	73,992	—	75,368	△ 1,376
9 給水件数	件	30,219	—	30,394	△ 175
10 開栓処理件数	件	220	1,113	1,330	△ 217
11 閉栓処理件数	件	200	1,016	1,094	△ 78
12 給水工事設計審査	件	34	218	171	47
13 給水工事竣工検査	件	73	217	271	△ 54
14 経年メーター交換	件	224	714	1,628	△ 914
15 メーター口径変更	件	3	8	25	△ 17
16 督促状発送数	件	1,318	5,396	5,435	△ 39
17 月末停止件数	件	105	—	89	16

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	26	132	124	8
19 排水設備工事完了検査	件	24	114	118	△ 4

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
20 当年度分	189,943,467円	74.17%	196,461,556円	74.02%
21 過年度分	4,107,157円	97.77%	3,899,207円	97.92%
22 計	194,050,624円	-	200,360,763円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
23 当年度分	79,988,249円	69.96%	79,729,673円	70.74%
24 過年度分	946,856円	98.76%	857,355円	98.91%
25 計	80,935,105円	-	80,587,028円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
26 当年度分	19,437,750円	42.06%	22,629,390円	48.92%
27 過年度分	1,401,100円	19.55%	1,955,200円	11.55%
28 計	20,838,850円	-	24,584,590円	-

登米市 水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みちる)さん

特記事項

1. 7月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は180,068千円(税込)で、前月期に比べて4,918千円の減、対前年同月比では6,507千円の減となっています。営業収益は180,514千円、営業外収益は預金利息や事務手数料など5,131千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など82,908千円、営業外費用は企業債利息として102千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金1,089千円の執行となりました。支出は、建設改良費として職員給与費などを含む事務費や工事請負費など95,853千円、企業債償還金として1,980千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は65,473千円(税込)で、前月期に比べて1,245千円の減、対前年同月比では1,738千円の減となっています。営業収益は65,473千円、営業外収益は、他会計補助金及び負担金など448,484千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など80,568千円、営業外費用は企業債利息として3,023千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、受益者分担金及び受益者負担金33,549千円を執行しました。支出は、建設改良費として事務費など8,898千円、企業債償還金として117,051千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 総務企画常任委員会の開催

7月13日(木)に総務企画常任委員会が開催され、上下水道施設の現地調査を行いました。

現地調査では、将来にわたり安全な水道水を安定的に提供するため再構築を進めている保呂羽浄水場や、迫町大東地区雨水排水路整備事業の工事現場等について調査を行いました。

現地調査の各施設や工事現場において、各担当者から施設の概要等について説明を行い、委員からは様々な質問や活発な意見がありました。



【現地調査(保呂羽浄水場)の様子】

(2) 料金徴収・給水装置管理等業務委託外部評価を実施

包括的委託業務における受託者の適正な業務執行状況の把握と業務の内容を適切に評価することを目的として、第三者による評価を実施する外部評価委員会を設置しており、7月26日(水)に料金徴収・給水装置管理等業務委託の外部評価を実施しました。

委員は、学識経験者や上下水道事業運営審議会委員等5名で組織されています。

今回の委員会では、受託者から令和4年度における委託実施状況について説明を受け、評価を行いました。委員からは、概ね良好であるとの評価をいただき、委託期間である令和6年度までの残り2年間についても、お客様目線で取り組んでほしいとの意見をいただきました。



【外部評価委員会の様子】

令和5年7月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	852,186	3,281,377	3,152,520	3,389,518	128,857	△ 108,141
総配水量	793,573	3,061,895	2,946,290	3,164,572	115,605	△ 102,677
1 有効水量	641,360	2,605,294	2,653,320	2,760,106	△ 48,026	△ 154,812
(1) 有収水量	607,863	2,488,505	2,541,600	2,572,035	△ 53,095	△ 83,530
(2) 無収水量	33,497	116,789	111,720	188,071	5,069	△ 71,282
2 無効水量	152,213	456,601	292,970	404,466	163,631	52,135
(1) 漏水量	151,905	455,081	290,480	396,548	164,601	58,533
(2) その他無効水量	308	1,520	2,490	7,918	△ 970	△ 6,398
3 有収率	76.60%	81.27%	86.26%	81.28%	-4.99%	-0.01%

※ 当月期の最大配水量は、28日（金）に記録した【27,234m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	11,000	1	9,988	0	0	1,012	90.8%
浄水施設整備事業	8	182,105	5	78,714	1	197	103,194	43.3%
配給水施設整備事業	57	1,294,397	13	63,890	0	18,834	1,211,673	6.4%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 登米町小島東針田地内で漏水発生

7月27日（木）、登米町小島東針田地内において、水道管（塩化ビニル管：口径100mm）の漏水が発生しました。漏水修理は坂道で漏水の特定に時間を要しました。漏水箇所は管体に亀裂が入り漏水したものでした。修理は断水せずに漏水箇所を覆う部材を取り付けて完了しました。

また、漏水箇所の路線は、漏水が多発していることから、今年度に布設替えを行うこととしています。



【復旧工事の状況】

2 石越浄水場沈殿池清掃作業を実施

7月12日（水）、石越浄水場の沈殿池清掃作業を行いました。沈殿池に汚泥が多くなると、浄水処理に影響を及ぼすことから、定期的に清掃を行うこととしています。

また、清掃作業に併せて、沈殿池内部の状況や可動部の確認も行っています。



【沈殿池内清掃作業状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	7	25.619
	付属施設	0	0.000
	給水装置	8	12.220
	計	15	37.839

【漏水調査結果：7月】

※参考：漏水削減効果（金額換算）
約260,680円/日当たり
算定：R4年度給水原価 287.05円
累計漏水量 37.839m³/h
37.839m³/h×24h×287.05円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	53,330	208,669	221,270	△ 12,601	3処理場
米谷・錦織処理区	11,173	43,595	47,803	△ 4,208	
豊里処理区	30,789	120,674	124,909	△ 4,235	
津山処理区	11,368	44,400	48,558	△ 4,158	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	12,464	48,049	52,344	△ 4,295	
農業集落排水	121,023	472,568	468,215	4,354	24処理場
迫地区	9,209	35,133	39,680	△ 4,547	
東和地区	2,905	11,362	13,295	△ 1,933	
中田地区	32,528	130,371	123,026	7,345	
豊里地区	2,079	7,811	8,179	△ 368	
米山地区	53,642	205,906	203,134	2,772	
南方地区	20,660	81,986	80,902	1,085	R5.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	41,469	171,154	166,952	4,202	2,099基
合計	505,675	2,006,705	2,005,750	955	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	319,909	3	778	0	20,779	298,352	6.7%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	85	300,390	21	8,120	8	3,006	289,264	3.7%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 下水道処理施設の放流水の水質検査を実施

令和5年7月19日に東和町の大関浄化センター及び迫町の新田地区農業集落排水処理施設において、宮城県石巻保健所による放流水の水質検査が行われました。

今回の検査において対象となった2箇所の処理施設の放流水については、全て水質基準値内となっており、問題はありませんでした。



【試料採取状況】

2 汚水管渠築造工事に着手

7月期、津山町横山地区外汚水管渠築造工事に着手しました。この工事は、津山町横山地区及び中田町石森古館地区の汚水管渠を開削工法により管路(施工延長L=170.05m)、マンホール(4基)の整備を行うものです。

この工事により、未整備箇所が残っていた津山処理区の整備が完了する見込みです。令和5年度の事業概成に向け、引き続き汚水管渠の整備を行ってまいります。

○浄化槽整備事業受付状況
(7月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	40	40